



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月31日

上場会社名 アイエクス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 文男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 中谷 彰宏

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,122	8.1	164	32.3	187	27.7	125	18.9
2020年3月期第1四半期	4,486	8.1	242	56.7	258	47.1	154	30.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	12.61	
2020年3月期第1四半期	15.55	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,569	4,977	52.0
2020年3月期	9,757	4,945	50.7

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 4,977百万円 2020年3月期 4,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,017	3.1	800	2.0	842	1.8	561	3.6	56.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	11,200,000 株	2020年3月期	11,200,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,239,189 株	2020年3月期	1,239,189 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	9,960,811 株	2020年3月期1Q	9,961,345 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対応する緊急事態宣言の発令等により、個人消費や企業活動が制限され、景気が悪化の様相を見せており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の情報サービス市場におきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、テレワーク環境の整備・強化が進むとともに、引き続きDXなどのデジタル技術を用いた新たなビジネススタイルへの変革に向けたIT需要が増加する一方で、現状の経済活動における停滞感が今後長期化する場合には、企業の先端技術等に対するIT投資に影響がでてくる懸念されます。

このような環境の下、当社は、「中核事業の拡大」「事業基盤の強化」「次期成長事業の創出」を中期経営方針として3ヶ年の中期経営計画を策定し、営業改革、開発体制整備、案件対応力強化、DXやブロックチェーン技術等のデジタル化への対応に加えて、教育・採用の強化、社内情報化投資や事業投資にも積極的に取り組んでまいります。中でも、DXシフトに取り組むお客様のニーズに対応した技術・サービスを開発し、大手SI企業と協力してデジタル先端技術を活用したプラットフォームサービス事業等の新たな成長事業創出に注力してまいります。また、新型コロナウイルス感染症拡大の予防策として従業員の在宅勤務や時差出勤等の対策も講じつつ、事業活動を推進しております。

当第1四半期累計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、車載組込みシステム開発が堅調に推移し、倉庫会社向けや化粧品会社向けのシステム開発案件などの受注が拡大しました。しかしながら、前年度の大手通信事業者向けのシステム検証大型案件の収束をカバーするには至らず、前年同期と比べて売上高は減少いたしました。また、システムマネジメントサービスにおいては、運用設計や基盤構築案件など既存業務を堅守し、売上高はやや増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、4,122百万円（前年同期比8.1%減）となりました。利益面では、事業の選択と集中や業務改善を進めるなど事業基盤の強化に取り組んだものの、売上高減少の影響を受け、営業利益164百万円（同32.3%減）、経常利益187百万円（同27.7%減）、四半期純利益125百万円（同18.9%減）といずれも減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は9,569百万円となり、前事業年度末に比べ188百万円減少しました。これは主に「受取手形及び売掛金」の減少208百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は4,592百万円となり、前事業年度末に比べ220百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少465百万円、「その他」に含まれる「預り金」の増加196百万円、同じく「その他」に含まれる「未払費用」の増加142百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は4,977百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の減少23百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加55百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の50.7%から52.0%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績および現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね2020年5月15日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,002,805	3,955,190
受取手形及び売掛金	2,701,230	2,492,850
商品及び製品	485	7,561
仕掛品	126,825	178,928
その他	204,652	190,373
貸倒引当金	△19,179	△19,179
流動資産合計	7,016,819	6,805,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	109,218	106,729
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	26,457	23,142
土地	116,992	116,992
有形固定資産合計	252,669	246,863
無形固定資産		
ソフトウェア	29,880	26,455
ソフトウェア仮勘定	-	26,082
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	38,570	61,227
投資その他の資産		
投資有価証券	1,173,786	1,204,237
繰延税金資産	981,811	957,287
その他	294,215	294,215
投資その他の資産合計	2,449,813	2,455,741
固定資産合計	2,741,053	2,763,833
資産合計	9,757,872	9,569,559

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	565,281	611,465
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	280,461	238,698
未払法人税等	159,538	81,843
賞与引当金	949,625	483,825
役員賞与引当金	17,285	-
その他	296,253	639,178
流動負債合計	2,308,444	2,095,011
固定負債		
長期借入金	70,000	60,000
退職給付引当金	2,334,586	2,337,890
資産除去債務	63,292	63,308
長期末払金	36,200	36,200
固定負債合計	2,504,078	2,497,398
負債合計	4,812,523	4,592,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,291,045	1,291,045
利益剰余金	2,794,257	2,770,490
自己株式	△480,060	△480,060
株主資本合計	4,786,139	4,762,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,209	214,776
評価・換算差額等合計	159,209	214,776
純資産合計	4,945,349	4,977,148
負債純資産合計	9,757,872	9,569,559

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,486,432	4,122,068
売上原価	3,590,022	3,316,058
売上総利益	896,409	806,010
販売費及び一般管理費	653,855	641,913
営業利益	242,553	164,097
営業外収益		
受取利息	961	929
受取配当金	14,123	17,821
その他	3,022	5,085
営業外収益合計	18,107	23,835
営業外費用		
支払利息	189	138
為替差損	1,471	504
その他	54	7
営業外費用合計	1,715	650
経常利益	258,946	187,282
特別利益		
固定資産売却益	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産廃棄損	-	0
投資有価証券評価損	30,335	-
特別損失合計	30,335	0
税引前四半期純利益	228,613	187,282
法人税等	73,759	61,637
四半期純利益	154,854	125,644

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。